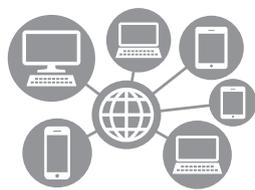


くらし

合併地域などの周辺部の 超高速インターネット環境整備

問 これまでの取組経過とサービスの開始時期、市民への周知方法について伺いたい。

答 合併5地区では、平成18年度に本市が事業者を整備費の一部を補助し、高速インターネットサービスのADSL回線が整備された。一方、国では令和元年度に地理的に条件不利な地域の光回線整備に補助を行う高度無線環境整備推進事業が創設され、令和2年度には市内全域が対象となるなど制度や予算が大幅に拡充されたところである。



このことから本市でも光回線による超高速インターネット環境整備のため、民設民営方式による整備への補助事業を開始し、令和4年2月末までに未整備地区の整備を完了した後、令和4年4月のサービス開始を予定している。

なお、周知については、サービスの提供事業者と連携しながら、広報がさきなどの媒体を活用し取り組んでいく。

明政クラブ

子育て・教育

子どもの性教育

問 性被害防止の観点から、年齢に応じた性教育の取組について伺いたい。

答 就学前の子どもへの性教育は、保育所保育指針等に基づき、人権を大切にする心を育てるよう取り組んでいる。小中学校では学習指導要領に基づき、保健体育の授業で性に関する指導をするとともに、「特別の教科 道徳」で異性への理解と豊かな道徳性を育むよう指導している。また、一部の市立中学校や高校を対象にデートDV防止授業を実施しているところである。

なお、県において、令和3年度から性に関する教育の専門医等を派遣する事業を実施していることから、この事業を活用し、本年度、中学校6校に産婦人科医が派遣されることとなっている。

今後も各学校への周知啓発を図り、関係機関と連携しながら、適切な教育活動の実践に努めたい。



▲保育所での指導の様子

公明党

防災

避難場所としての公園の機能拡充

問 災害時の避難機能を有した公園整備の在り方について伺いたい。

答 本市では、大火災や地震等の災害時において、大規模な避難が必要な際に、緊急的な避難場所として使用するため、一定の広さを有する公園や広場を指定緊急避難場所として指定している。

首都直下型地震や南海トラフ地震の影響が大きい都市では、釜戸など防災設備となる遊具等を備えた防災公園の整備が進んでいることを認識しており、本市においても一部の公園に同様の整備をしているが、長崎の災害の特性は土砂災害や台風といった屋内への避難を要する災害が中心であることから、拠点避難所の整備を優先している。

しかしながら、災害時にテントや釜戸などに活用できる遊具等は有用であるため、地震被害の想定を考慮しながら、必要性について検討したい。



▲防災ベンチ (横尾 秋寄公園)

福祉

障害者、高齢者に対する 新総合観光案内所の取組

問 バリアフリー観光への取組と分かりやすい表示・誘導の在り方について伺いたい。

答 西九州新幹線の開業に合わせ整備する新総合観光案内所については、障害者や高齢者も含め、誰もが分かりやすい案内表示やストレスフリーな滞在と回遊の実現に向け、取組を進めている。具体的には、柵や機の配置や高さ、車椅子の方などに対応するバリアフリー仕様や、案内所の機能や提供するサービスのピクトグラムによる表示、リモートシステム導入による耳が不自由な方への手話などきめ細やかな対応を行う予定である。

そのほか、ストレスフリーに楽しんでまち歩きをしていただけるよう各観光施設のバリアフリー情報を発信しながら、障害のある方も楽しめる長崎さるくコースの紹介や新たなコースの検証・設定なども検討したい。

